



福島原子力事故関連情報アーカイブ

Fukushima Nuclear Accident Archive

Title	減容化・再生利用と復興を考える知のネットワーク
Alternative_Title	Network of knowledge for considering volume reduction, recycling, and reconstruction
Author(s)	環境放射能除染学会, 中間貯蔵・環境安全事業 The Society for Remediation of Radioactive Contamination in the Environment; Japan Environmental Storage and Safety Corp.
Citation	第12回環境放射能除染研究発表会要旨集, p.71 The 12th Workshop of Remediation of Radioactive Contamination in Environment
Subject	企画セッション2
Text Version	Publisher
URL	https://f-archive.jaea.go.jp/handle/faa/277828
Right	© 2023 Author
Notes	禁無断転載 All rights reserved. 「第12回環境放射能除染研究発表会要旨集」のデータであり、発表内容に変更がある場合があります。 学会は発表の機会を提供しているもので、内容に含まれる技術や研究の成果について保証しているものではないことをお断りいたします。



減容化・再生利用と復興を考える知のネットワーク

環境放射能除染学会、中間貯蔵・環境安全事業株式会社共催

第一部「技術実証事業成果発表会（第5回）」では、中間貯蔵・環境安全事業株式会社（JESCO）が環境省から委託を受けて実施している「除去土壌等の減容等技術実証事業」（公募型技術実証事業）の成果を令和4年度の実証事業者4者の協力を得て広く情報発信する。

続く第二部「県外最終処分に向けた減容・再生利用に関する理解醸成」では、各分野でコミュニケーションに取り組んできた専門家を招き、理解醸成活動の意義や必要性を改めて共有する。

□日時：8月31日（木）13時40分～17時

□場所：1階小ホール

□内容：

第一部 技術実証事業成果発表会（第5回）

（1）成果発表

- ①株式会社大林組
- ②大成建設株式会社
- ③株式会社不動テトラ
- ④J&T 環境株式会社

（2）全体質疑とまとめ

第二部 県外最終処分に向けた減容・再生利用に関する理解醸成

（1）講演

- ①中野哲哉（環境省環境再生・資源循環局参事官）
- ②高村昇（長崎大学教授、東日本大震災・原子力災害伝承館館長）
- ③崎田裕子（放射線リスクセンター総括補佐、ジャーナリスト、環境カウンセラー）
- ④鶴野充茂（ビーンスター株式会社代表取締役、日本広報学会常任理事）

（2）パネルディスカッション